

平成23年度  
事業報告書  
【本編】

新潟コンベンションセンター等指定管理者

新潟万代島総合企画株式会社

## 1 新潟コンベンションセンターの利用実績について

指定管理の2年目である平成23年度は、年度直前の3月に発生した東日本大震災の被害を受け、先行き不透明の中でのスタートとなりました。

コンベンションを取り巻く状況におきましても、被災地では物理的に開催ができなくなったことはもちろん、国際会議などでは日本そのものでの開催を中止、延期する動きが生じるなど事業環境は一時的に大変厳しい状況となりましたが、年度途中から復興支援の機運の高まりにより、イベントを中心に回復傾向が見られました。

このような状況の中で、当社は、電力の需給制限に備えた省エネルギー対策を実施する一方で、平成23年度事業計画に基づきコンベンション誘致、特に稼働率向上を目指し「自主企画事業」として主催・共催事業に取り組むなど積極的に事業を展開しました。

また、来場者数は、集客力の高い展示ホールの利用が増加したことから前年度を上回りました。

### (1) 催事実施状況

総催事開催件数は、展示場・会議場利用が916件、アトリウム、エスプラナード、多目的広場のみ利用が9件、合計925件の催事が開催され、前年度から112件増となりました。このうち展示ホール、メインホール、国際会議室の主要3ホールのいずれかを利用する大規模催事は、前年度と比較して37件増の343件となり、過去最高であった平成21年度を1件上回りました。

一方で主要3ホールの延べ利用日数は、前年度と比較して30日増加し、歴代3位となる647日となりました。

その結果、主要3ホールの平均稼働率は、前年度比2.7ポイント増の60.8%（小数点2位四捨五入。以下稼働率は同じ。）となりました。

なお、展示場・会議場の延べ利用日数は、前年度に比べて9日減、歴代5位の2,761日、稼働率は55.6%となりました。

### (2) 来場者数

催事来場者数は、前年度比146千人増の641千人となりました。これは、震災の影響で前年度は中止となった「にいがた酒の陣」や「新潟大学卒業式」などが例年通り開催されるなど展示ホールの利用件数が増加したことが反映されました。

### (3) 使用承認状況

平成23年度に使用承認を行った催事件数は887件で、開催年度別でみると平成23年度開催催事が624件、平成24年度開催催事が234件、平成25年度開催催事が29件でした。

#### (4) 利用料金収入額

今年度の消費税込みの施設利用料金収入額※は 397,740 千円で、前年度に比べて 59,528 千円増となりました。これは、会議場の延べ利用日数は前年度に比べて 54 日の減少となりましたが、1 件あたりの利用単価の高い展示場の利用日数が前年比 46 日増となったことが反映されました。

※自主企画事業等での内部取引額を含んだ収入額となります。

## 2 新潟県万代島駐車場の利用実績について

新潟県万代島駐車場について、事業計画に従って安全安心で効率的な維持管理と利用者ニーズに応じた管理の実現を念頭に適切な管理運営に努めました。

#### (1) 利用状況

駐車場の利用は、来場者数の増加及び定期駐車券契約台数の増加に伴い、総出庫台数は前年度比 67 千台増の 668,363 台となりました。

内訳は、有料出庫台数で 43 千台増の 293,207 台、定期出庫数で 15 千台増の 145,258 台となりました。

なお、定期駐車券契約台数は、平成 24 年 3 月末現在で前年同月比 128 台増の 786 台となりました。

#### (2) 利用料金収入額

今年度の万代島駐車場利用料金収入額※は 274,854 千円で、前年度に比較して 29,159 千円の増収となりました。

これは、有料出庫台数が増加したことが反映されました。

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引額を非控除とした税込の収入額となります。

### 3 維持管理業務など管理の業務の実施状況

事業計画に従って、新潟コンベンションセンター及び新潟県万代島駐車場、新潟港万代島緑地の3施設において、安全安心で効率的かつ快適な施設の維持管理及び施設グレードの保持を念頭に維持管理業務を実施しました。施設の管理運営に起因する重大な事故・トラブルはありませんでした。

#### (1) 新潟コンベンションセンターにおける管理の業務の実施状況

- ① 東日本大震災による電力不足を受け、年間を通して節電を推進しました。
- ② 夏の涼感演出のため、ペDESTリアンデッキにグリーンカーテン（ゴーヤ）を試験的に設置しました。
- ③ 電力需給制限対策として非常用発電機の改良工事を実施しました。
- ④ エスプラナードに大型コインロッカーを設置しました。
- ⑤ アトリウムと会議棟2階にイベント用の電源盤を設置するとともにイベント時の仮設ケーブル等を架設するための館内配線路を整備しました。
- ⑥ 防火・防災対策の一環として朱鷺メッセ合同で2回、当社単独で4回の消防訓練を実施しました。
- ⑦ 有識者による技術評価委員会を3回開催し、維持保全業務の技術評価を実施しました。
- ⑧ その他、適切な日常管理業務の遂行、保守点検・設備運転監視業務の実施、状況に応じた適切な警備業務、清掃業務の実施、植栽・モニュメント管理、除雪業務等の計画書に盛り込んだ維持管理計画を新潟コンベンションセンター等維持管理業務基本仕様（以下、「仕様書」という）及び各種法令・規則・基準等に従って適切に遂行しました。

#### (2) 新潟県万代島駐車場における管理の業務の実施状況

- ① 老朽化した駐車場管制制御PCを更新しました。
- ② 駐車場管理室の増築を行い、職場環境の改善を図るとともにセキュリティや作業効率の向上に努めました。
- ③ 大規模コンベンション開催時等において、臨時警備員配置により各駐車場内の円滑な入出場支援と事故防止に努めました。
- ④ その他、仕様書に則り、新潟コンベンションセンターと連携した警備業務、各種設備・機器の保守点検業務、適切な植栽管理業務や除雪業務、清掃業務等を実施し、駐車場利用者に気持ちよく利用していただけるように努めました。

#### (3) 新潟港港湾緑地における管理の業務の実施状況

不特定多数の来場者が気持ちよく利用していただけることを念頭に、犯罪・迷惑行為の防止に留意した警備業務や公衆トイレの清潔さを保持する清掃業務、リバーフロントパーク等を憩いの場として提供するための植栽管理業務等、仕様書に則って適切な維持管理業務に努めました。

#### 4 新潟コンベンションセンター等の施設収支状況

新潟コンベンションセンター及び新潟県万代島駐車場、新潟港万代島緑地の3施設をあわせた収入額は815,755千円(税込)、また、支出額については765,667千円(税込)で、今年度の収支は50,088千円(税込)の黒字となりました。各部門別の収支状況の詳細については、別紙「平成23年度収支報告」※のとおりです。

※収支報告は、売上戻り高を控除し、施設内部取引額や駐車場回数券値引額を非控除とした税込の収支額

##### (1) 新潟コンベンションセンターの収支状況

新潟コンベンションセンターの収入額は521,716千円となり、前年度と比較して37,420千円上回りました。これは、前年度末の東日本大震災の影響を上回る年度途中からの回復傾向に起因しています

支出については、経費の節減に努めた結果、維持管理費や運営事務費は前年度を下回りましたが、事業費のうち自主企画事業費が29,609千円増の41,755千円、誘致広報事業費が6,568千円増の13,417千円となったことが影響して、支出全体は前年度と比較して23,615千円上回る618,289千円となりました。

以上の結果、新潟コンベンションセンターの収支は96,573千円の支出超過となりました。

##### (2) 新潟県万代島駐車場の収支状況

新潟県万代島駐車場利用料収入額は270,369千円で、前年度を24,736千円上回る結果となりました。

また、支出は、前年度を16,371千円上回る123,708千円となりましたが、これは、新潟県納付金が、前年度と比較して14,600千円増の17,400千円となったためです。

結果として、新潟県万代島駐車場の収支は、前年度を8,365千円上回る146,661千円となりました。

##### (3) 新潟港万代島緑地の収支状況

新潟港万代島緑地の支出は、ほぼ前年度と同額の23,670千円となり、全額を指定管理料で賄いました。

## 5 その他事業計画書記載事項の実施状況

事業計画書記載事項で前述以外の事項の実施状況を以下のとおり報告します。

### (1) 新潟コンベンションセンターにおける事業計画書記載事項の実施状況

平成 23 年度の稼働率は、メインホールが事業計画書に記載した稼働率に 6.2 ポイント下回る 64.8%となりましたが、展示ホールは 4 ポイント上回る 60%、国際会議室は 3.5 ポイント上回る 57.5%となり、3 施設の平均稼働率は、0.2 ポイント下回る 60.8%となりました。

なお、新潟コンベンションセンター等の管理に関する基本協定書に定められた基準稼働率（展示ホール単体で 50%、3 施設平均で 57%）は上回りました。

コンベンション誘致の重点目標である「県民の多くが利用・参加できるイベント」では、「にいがた宇宙フェスタ 2011」「新潟鉄道博」などを自主企画事業の一環として主催・共催いたしました。

また、地球環境にやさしい施設づくりを推進するため、環境マネジメントの国際規格である ISO 14001 を取得（登録証番号 JQA-EM6811）し、環境マネジメントシステムを構築しました。

その他、特定料金、小会議室セルフレイアウト料金や小会議室単独利用時の料金後納対応など前年度から継続して実行しております。

### (2) 新潟県万代島駐車場における事業計画書記載事項の実施状況

平成 23 年度事業計画書に基づき、利用者ニーズに応じた柔軟性のある運営、安全安心を最優先とする駐車場管理に努めました。

具体的には、大規模催事開催時における安全誘導を実施するため、各駐車場に警備員を増員配置し、駐車場内及び駐車場出入口の安全誘導を実施しました。その際、佐渡汽船の入出港時刻やセンターでの催事開始・終了時間等を踏まえて適切な誘導管理を行いました。

また、駐車場内外における誘導サインの見直しを適宜行い、利便性の向上に努めました。

## 6 自己評価及び利用者の意見

### (1) 自己評価

平成 23 年度は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発災により、年度当初は電力不足や放射能風評被害への不安など先行き不透明な中でのスタートとなりました。

このような環境の中、展示ホール稼働率は過去最高の 60.0%を達成し、展示ホール、メインホール、国際会議室の 3 施設平均稼働率も 60.8%を確保できました。

これは、「にいがた宇宙フェスタ」「新潟鉄道博」などのイベントを主催・共催す

るなど当社が継続的、積極的に営業活動を展開したことに加え、復興支援の機運によりイベント開催意欲が高まった結果と考えております。

## (2) 利用者の意見

### ①「ご利用者（主催者）アンケート」

新潟コンベンションセンターを利用した催事の主催者、使用責任者等に対してアンケートを実施し、施設グレード・清潔感や貸出備品に関すること、社員の対応、万代島駐車場に関すること等について回答を頂きました。

このうち、「わかりやすさ」「親切さ」「案内・取次ぎ」といった社員の対応については、お客様目線に立ったサービスを心掛けた結果、今年も高い評価をいただきました。

また、「案内表示」につきましては、毎年アンケートなどを参考に適宜改善を図っておりますが、建物が大きく又入口が多数あるなど建物自体が複雑なことから満足度の上昇には至りませんでした。

なお、「交通アクセス」や「万代島駐車場の使いやすさ・利用料金」については、バス便の少なさ、駐車場の遠さなどアクセスや立地等のインフラに係る不満が評価対象となっている回答や駐車場の上限料金の額に対するご意見も寄せられました。

### ②「ご来場者アンケート」

朱鷺メッセに何らかの目的を持って来場された方を対象として平成 19 年度よりアンケートを実施し、朱鷺メッセを訪れた方の目的や利用交通機関、施設・交通の利便性、万代島駐車場の使い勝手等についてご意見を伺いました。

なお、アンケートの6割以上がコンベンションセンターで開催された催事とは関係のない来場でした。

集計結果は、催事の内容や展望室、ホテルに関するものが多く見受けられました。また、交通アクセスなどに対する不満も多く寄せられました。

催事の内容に対する不満については催事主催者にお伝えして、今後の参考にしていただきました。

### ③「利用者懇談会」

毎年、新潟コンベンションセンター利用者を対象とした「朱鷺メッセ利用者懇談会」を開催しており、今年は実際にイベントを企画・運営する事業者の皆様からご意見を伺いました。

会議場に自動販売機設置や当社によるセルフのコーヒー対応への要望、雨天時や冬季における喫煙コーナーの在り方についてご意見をいただきました。

なお、当社社員の対応については、引き続き高い評価を頂きました。

## 7 管理の業務における懸案事項

### (1) 目標稼働率達成に向けての取り組み

平成24年度の展示ホール、メインホール及び国際会議室の目標稼働率は、厳しい経済情勢のもとではありますが、新潟コンベンションセンターの設置目的を果たすべく、公募時に提案した展示ホール、メインホール、国際会議室の3施設平均で62%、展示ホール単独で57%の目標を掲げ、リピーターへのフォローや新規顧客開拓に力を入れて目標達成に努めます。

### (2) 省エネルギー対策の実施

当社は、環境マネジメントに関する国際規格であるISO14001を平成23年度末に取得しました。東北電力管内では平成24年度における節電の数値目標は設定されませんが、地球環境にやさしい施設づくりを目指し、今後も引き続き出来得る限りの省エネルギー対策に努めます。



## 平成23年度 収支実績

(収入)

(単位:千円 税込)

科目名	センター	駐車場	緑地	合計
I 利用料金収入	397,689	270,369	0	668,058
II 自主企画事業収入	1	0	0	1
III 指定管理料	98,330	0	23,670	122,000
IV その他収入	25,696	0	0	25,696
収入計 A	521,716	270,369	23,670	815,755

(支出)

科目名	センター	駐車場	緑地	合計
I 人件費	122,343	14,064	3,146	139,553
II 運営事務費	68,041	6,091	1,302	75,434
III 事業費	74,686	17,560	4	92,250
IV 維持管理費	353,219	85,993	19,218	458,430
支出計 B	618,289	123,708	23,670	765,667

収支 C (A-B)	▲ 96,573	146,661	0	50,088
------------	----------	---------	---	--------

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引き額を非控除とした税込みの額となります。

平成23年度 収支実績(内訳)

(収入)

(単位:千円 税込)

科目名	センター	駐車場	緑地	合計
I 利用料金収入	397,689	270,369	0	668,058
II 自主企画事業収入	1	0	0	1
III その他収入	25,696	0	0	25,696
収入計 A	423,386	270,369	0	693,755

(支出)

科目名	センター	駐車場	緑地	合計
I 人件費	122,343	14,064	3,146	139,553
II 運営事務費	68,041	6,091	1,302	75,434
事業所税	13,473	0	0	13,473
その他運営事務費	54,568	6,091	1,302	61,961
III 事業費	74,686	17,560	4	92,250
自主企画事業費	41,755	0	0	41,755
誘致広報業務費	13,417	17	4	13,438
新潟県納付金	0	17,400	0	17,400
その他事業費	19,515	143	0	19,658
IV 維持管理費	353,219	85,993	19,218	458,430
中規模修繕費	39,789	4,326	2,958	47,073
その他維持管理費	313,430	81,667	16,260	411,357
支出計 B	618,289	123,708	23,670	765,667

指定管理料を除いた収支 C (A-B)	▲ 194,903	146,661	▲ 23,670	▲ 71,912
---------------------	-----------	---------	----------	----------

指定管理料 D	98,330	0	23,670	122,000
---------	--------	---	--------	---------

指定管理料を含めた収支 E (C+D)	▲ 96,573	146,661	0	50,088
---------------------	----------	---------	---	--------

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引き額を非控除とした税込みの額となります。